

02 男子リレー

Men's relay



赤堀海成さん(下朝比奈)、河原崎結翔さん(朝比奈原)
浅井鈴雅さん(大山)、中山琉斗さん(桜ヶ池)、植田蒼さん(下比木)、永井豪さん(門屋)

声を掛け合い、笑顔が絶えない男子リレーメンバー。東海大会は、永井豪さん、植田蒼さん、中山琉斗さん、浅井鈴雅さん、赤堀海成さん、河原崎結翔さんの6人が出場し、息の合ったバトンパスで見事優勝を果たした。

「日頃からメンバー同士で積極的に声を掛け合うことを大切にしている」と話すチームのリーダー、赤堀海成さん。互いの存在の豪さん。互いに声を掛け合い、信頼関係を築きながら練習を重ねてきたことが、チームの強みにつながっている。レースでは、走り出しが重要だと考え、スタート直後の加速を意識しているという。

今回の優勝をきっかけにさらなる飛躍を見せ、次なるステージへと歩みを進めていく。

第48回東海中学校総合体育大会
陸上 中学1年男子1,500m 優勝

03 富岡 蒼太

Tomioka Sota



東海大会で見事優勝を果たした富岡蒼太さん(大山)は、「自己ベストを出した時が一番うれしい瞬間」と競技の魅力について話す。

走ることが好きで、小学4年生の頃から陸上競技を始めた。自分から積極的に行動することを大切に、仲間と切磋琢磨しながら競技に取り組んできたという。蒼太さん

は、「東海大会では、1位を取ることを目標に練習をしてきた。頑張った練習してきた成果が出たと感じている」と笑顔を見せる。

将来は、多くの人から憧れられ、目標にしてもらえるような選手になりたいと話した蒼太さん。そんな選手になるため、一歩ずつ成長を続け、さらなる高みを目指す。

夏の足跡

2026 SUMMER

今年の夏も熱い夏となった。全国、東海大会で熱戦を繰り広げた若者の姿を捉えた。



01 藤田 健希

Fujita Kenki

第53回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子共通800m 出場
第48回東海中学校総合体育大会陸上競技大会 男子3年1500m 3位

2大会で力強い走りを見せたのは、藤田健希さん(東町)。東海大会では、見事3位の成績を収めた。全国大会では、予選9位と0.15秒差で惜しくも決勝進出とならなかったが、9位以下のトライアルレースでは、2位と大健闘だった。

小学1年生の頃から陸上を始めた健希さん。家族全員が体を動かすことが好きで、兄や姉が陸上競技に取り組んでいたことから、自然と興味を持ち、陸上の楽しさに引き込まれていったという。

健希さんの持ち味は、レース後半に力を発揮する

ること。どんなに苦しい場面でも気持ちで負けないことを意識し、最後まで粘り強く走ることを大切にしている。健希さんは「一つひとつのレースで自分の力を出し切り、最後まで諦めずに勝負した。自分の実力を発揮することができた」と話す。

将来の夢は、箱根駅伝などの大きな舞台で活躍できる選手になること。夢の実現に向け、日々の積み重ねを大切にしながら一歩一歩着実に力を伸ばしていく。さらなる高みを目指して走り続ける健希さんのこれからに期待が高まる。

07 女子リレー

Women's relay



前田深音さん(大山)、牧野莉央さん(新野南)、村松美咲さん(新野南)、松原佳歩さん(新野南)

「お互いにポジティブな言葉を掛け合って高め合っている」とチームの結束力を語るのは、松原佳歩さん。女子リレーでは、松原佳歩さん、村松美咲さん、牧野莉央さん、前田深音さんの4人が東海大会への出場を決めた。

「お互いにポジティブな言葉を掛け合って高め合っている」とチームの結束力を語るのは、松原佳歩さん。女子リレーでは、松原佳歩さん、村松美咲さん、牧野莉央さん、前田深音さんの4人が東海大会への出場を決めた。

「お互いにポジティブな言葉を掛け合って高め合っている」とチームの結束力を語るのは、松原佳歩さん。女子リレーでは、松原佳歩さん、村松美咲さん、牧野莉央さん、前田深音さんの4人が東海大会への出場を決めた。

第48回東海中学校総合体育大会
体操 個人総合(ゆか・あん馬・跳馬・鉄棒) 出場

08 加藤 輝

Kato Hikari



緊張せず競技に臨むため、いつも笑顔でいることを心掛けていたという加藤輝さん(大山)。

取り組み、苦手としていた跳馬も繰り返し練習を重ねることで、今では得意な種目の一つとなった。輝さんは東海大会を振り返り、「自分が出せる力は全て出し切った」と話す。

今後、体操競技を続け、さらに自身を高めていきたいと語る輝さん。少しでも上達するため、努力を重ねる彼の飛躍が楽しみだ。

第48回東海中学校総合体育大会 陸上 中学1年男子100m 出場 04 中山 琉斗

Nakayama Ruito



この夏、東海大会へ出場した中山琉斗さん(桜ヶ池)。「緊張もあったが、自分の出せる力を出し切った」と大会を振り返る。

「次の目標は、全国中学校体育大会に出場すること」と話す琉斗さん。彼の挑戦はこれからも続いていく。

05 原 瑞琉

Hara Minaru

第48回東海中学校総合体育大会
陸上 中学3年男子100m 出場



東海大会で中学3年男子100mに出場し、首位を目指して全力で走り抜いた原瑞琉さん(大山区)。

小学3年生の時、走るフォームを改善したいという思いから陸上競技を始めた瑞琉さん。首位でゴールすることに楽しさを感じ、競技を続けてきた。

第48回東海中学校総合体育大会 陸上 中学共通男子200m 出場 06 山本 桜大

Yamamoto Ota



自身の走りを分析し、記録更新を目指して努力を惜しまない山本桜大さん(佐倉三区)。

「桜大さんは「トップクラスの人と競うことができ、とても貴重な経験になった」と大会を振り返る。レベルの高い選手と走ったことで、自分に不足し、改善しなければならぬところも見つかったという。自分の可能性を信じ、挑み続ける彼に、今後も目が離せない。」